

2019年度 国内光ケーブル需要見通し

2019年3月29日
調査統計専門委員会

調査統計専門委員会では、2019年度の国内光ケーブル需要見通しについて、2018年度見込みを含めて取りまとめた。

1. 概要

公衆通信部門は、NTT や他通信事業者における国内光ネットワークの設備投資の効率化やコスト削減により2013年度以降の減少傾向が継続すると見込み、2018年度も前年度比で減、2019年度もその傾向は維持されると予測した。

公共関連部門については、鉄道向けの設備更新需要が2018年度はこれまでの予測に反して進まず前年度比で減となる見込みであるが、2019年度は東京オリンピック・パラリンピック関連に加え、鉄道関連での需要増加を期待し、前年度比増を見込んでいる。

一般民需部門においては、CATV事業者の光化投資は継続しているものの、新4K・8K対応の需要はピークを越え、2018年度は前年度比で減、2019年度も前年度比減を見込んでいる。

上記の結果、国内光ケーブルの需要は、2018年度は前年度比-5.7%の6,227千kmcと推定し、2019年度は前年度見込み比-3.6%の6,000千kmcと国内での光ケーブルの需要は漸減傾向が続くものと予測した。

2. 前提条件と主な参考指標

(1) マクロ経済指標

メタル（銅およびアルミ）電線に同じ。

(2) NTT2019年3月期第3四半期決算

（NTT持株、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ）

(3) NTT平成30年度事業計画の許可申請

(4) NTT平成31年度事業計画の許可申請

(5) 総務省「ケーブルビジョン2020+」2017年5月

(6) 総務省「総務省重点施策2019」2018年8月

(7) 総務省「ケーブルテレビの現状」2018年7月

(8) 総務省「ブロードバンドサービス等の契約数の推移」

3. 需要見通し結果

部門	コメント
公衆通信	2018年度は、FTTH加入者数・通信事業者の投資が共に見込めず、2017年度比減となると見込まれる。 2019年度も、5G関連や基幹網の増強での増加を期待するも、NTT東西のアクセス網光化投資計画金額の減が大きく、全体を押し上げるまでには至らず、2018年度見込み比減と予測した。
公共関連	2018年度は、鉄道関連の需要が予測に反して進まず、2017年度比減と見込まれる。 2019年度は、需要がピークとなる東京五輪関連に加えて鉄道関連の需要を期待し、2018年度見込み比増と予測した。
一般民需	2018年度は、4K/8K対応需要がピークアウトした影響により、2017年度比減と見込まれる。 2019年度は、CATV関連の光化需要は継続するものの、4K/8K対応の需要はピークを越え、2018年度見込み比減と予測した。
国内需要合計	2018年度は、公共関連部門で増と予測するものの、公衆通信、一般民需部門の不振により、2017年度比減と見込まれる。 2019年度は、公衆通信、一般民需部門の不振が継続し、2018年度見込み比減と予測した。

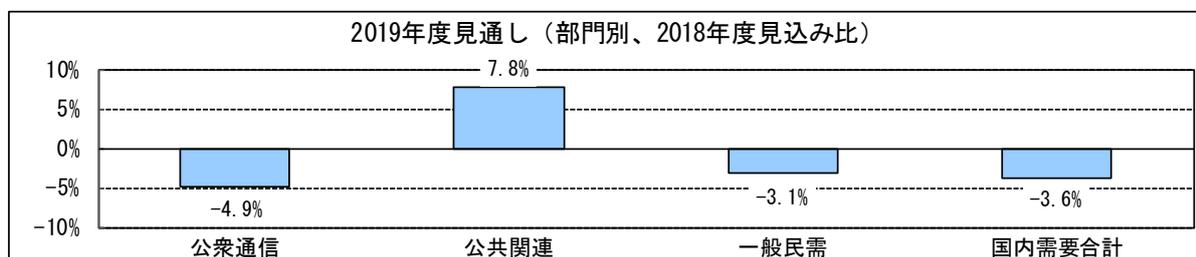
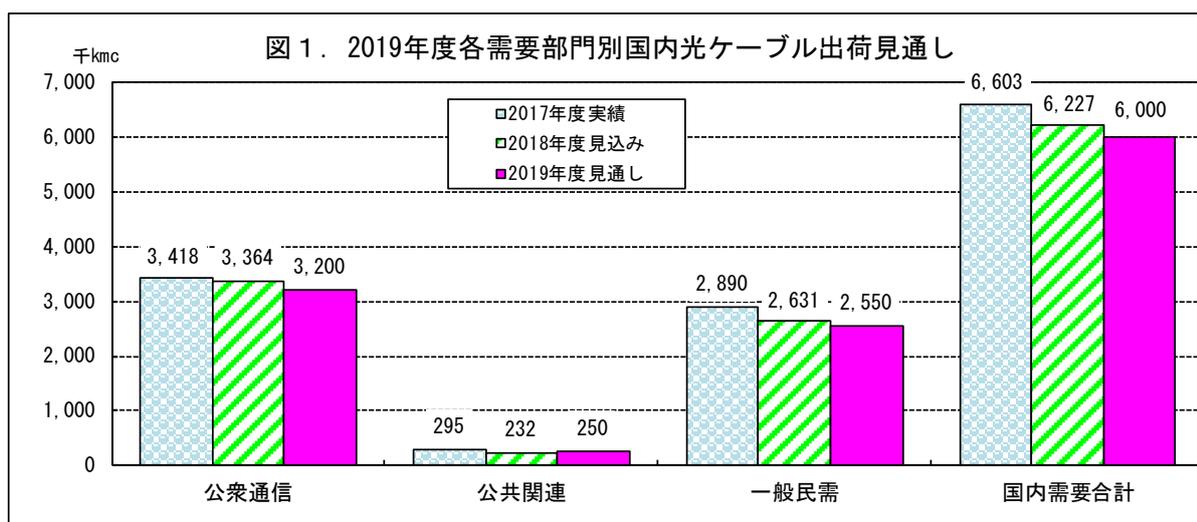


表1. 2019年度国内光ケーブル需要見通し

	2017年度実績	2018年度見込み	18/17伸び率	2019年度見通し	19/18伸び率
公衆通信	3,418	3,364	-1.6%	3,200	-4.9%
公共関連	295	232	-21.4%	250	7.8%
一般民需	2,890	2,631	-9.0%	2,550	-3.1%
国内需要合計	6,603	6,227	-5.7%	6,000	-3.6%

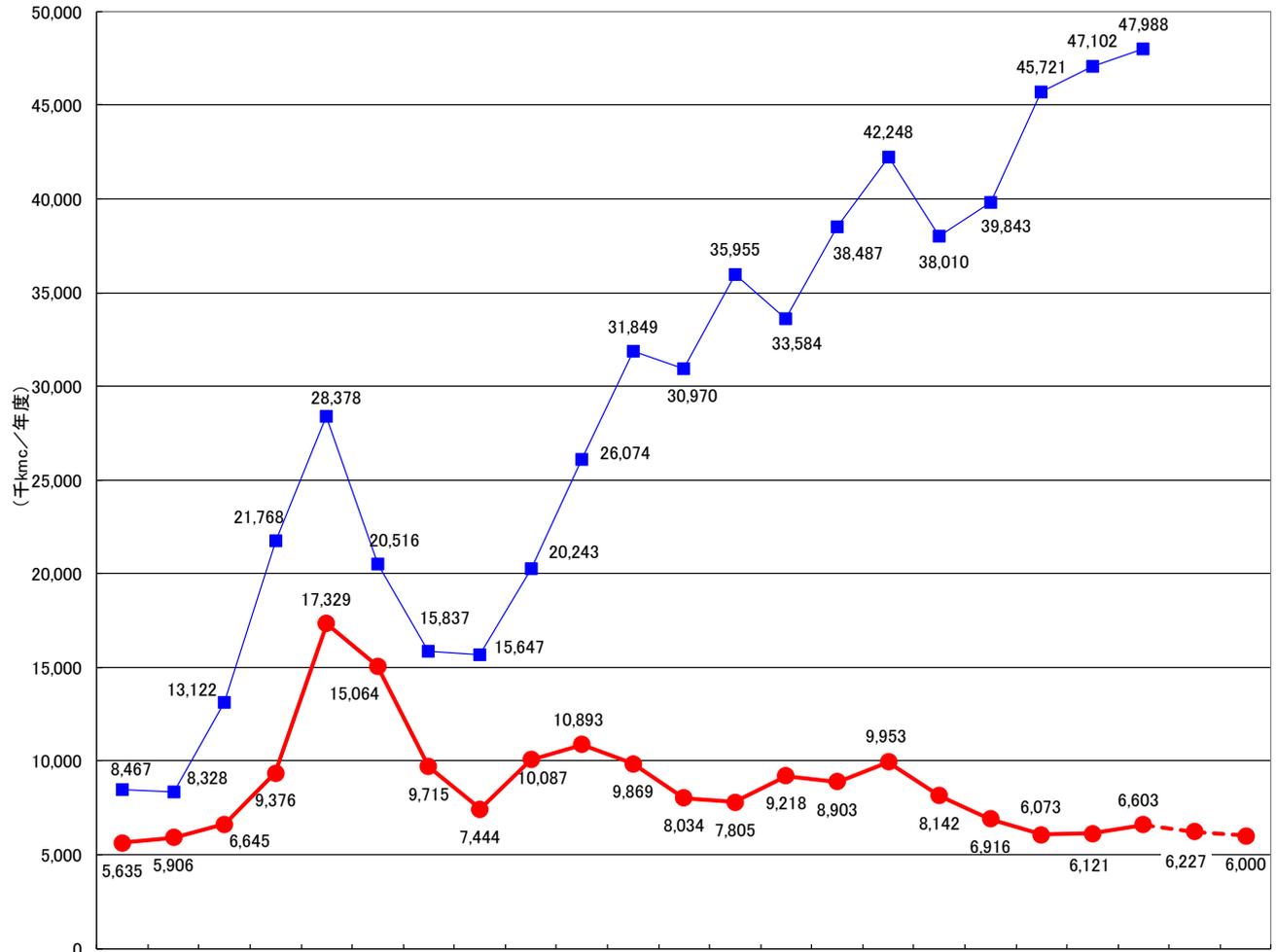
(千kmc)

図2. 国内光ケーブル需要見通し

単位:千kmc/年度

部門	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 見込み	18/17 伸び率	2019年度 見通し	19/18 伸び率
公衆通信	5,880	6,208	7,571	7,751	6,515	5,208	4,346	3,728	3,418	3,364	-1.6%	3,200	-4.9%
公共関連	168	175	214	186	230	145	138	167	295	232	-21.4%	250	7.8%
一般民需	1,757	2,835	1,118	2,015	1,397	1,563	1,589	2,226	2,890	2,631	-9.0%	2,550	-3.1%
合計	7,805	9,218	8,903	9,953	8,142	6,916	6,073	6,121	6,603	6,227	-5.7%	6,000	-3.6%

注: 四捨五入のため計が合わない場合がある。



● 光ケーブル(内需計) ■ 光製品合計(光ケーブルを含む内外需計)

(注) 光製品合計の18年度見込み、19年度見通しは作成していない。